

No.4 駅周辺 まちづくりニュース

このまち、もっと好きになる。

Vol.1

発行日：令和7年9月

モノレールの延伸を見据えた（仮称）No.4 駅（以下「No.4 駅」）周辺のまちづくりを検討するため、地域のみなさまと武蔵村山市が協力し、協議会を実施しています。
このニュースでは協議会の様子をお届けします。

第1回協議会を開催しました！

はじめに ...

令和7年8月9日（土）に第1回 No.4 駅周辺まちづくり協議会を開催し、活発な意見交換が行われました。

協議会は全6回の開催を予定しており、意見は市長への提言書として取りまとめます。



協議会設置の目的等



事務局より、本協議会では（仮称）No.4 駅の周辺のまちなり方等について協議を行うことを説明し、合わせて検討スケジュール等について説明しました。

地区の現況や課題 まちづくりの方向性

事務局より、地区の現況や課題、また、これまで市で作成した様々な計画について、その概要を説明し、No.4 駅周辺におけるまちづくりの方向性を確認しました。

質疑応答では、「武蔵村山市立地適正化計画」に関連して、多世代交流施設に関する意見が出されました。

近隣市の事例などをもとに、「行政と市民の協働によって利用者ニーズを実現するような施設を整備してほしい。」などのご意見をいただきました。

意見交換

「まちづくりに対する意見」

No.4 駅周辺での暮らしの状況や今後のまちづくりに関して意見交換を行いました。

駅の特徴、多世代交流、公共交通、自然・緑、Uターンしたくなるまちなど、様々な意見が出され、これらの結果を付箋を用いて簡潔に整理しました。





意見交換から見えてまた まちづくりへの思い

駅の特徴・みりよく

- 各駅が通過点にならないように、一つひとつの駅に特色をつけて、にぎわいにつなげたい。

多世代交流

- 本市には横中馬獅子舞という伝統芸能があるが、継承に課題がある。多世代交流によって伝統を継承してほしい。
- 本市には綺麗な図書館が少ない。おしゃれなスペースの公共施設をつくることで若い世代も集まる。

公共交通

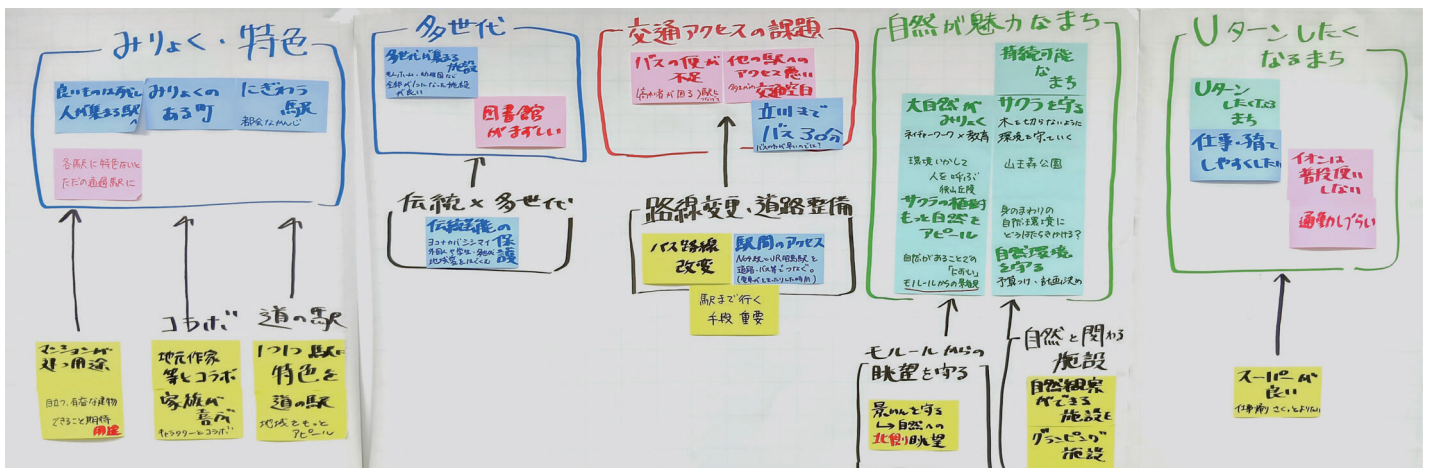
- バスの運行路線が不便で、希望する場所に行くことができない。地域によってはむらタクも利用できないので、バス路線の再編をしてほしい。
- 駅まで行く移動手段が問題である。

自然・みどり

- 桜のある憩いのまちを目指したい。自転車道の桜について、周辺の生態系等について配慮し、計画的に維持管理していく必要がある。
- この地区のように自然が非常に豊かでかつこまで身近な環境はなかなかない。こうした環境を自然教育・交流に活かしたい。

Uターンしたくなるまち

- 都心から帰ってくると空気が違う。モノレール（開業区間）から山が綺麗に見える。これらの資源を大事にしていきたい。
- これまでのまちのDNAを残す一方で、代謝も必要。便利で多くの人が住めるようなまちになってほしい。



📍 次回とこれからの流れ

次回「第2回協議会」

日時	令和7年9月27日 午前9時30分から (2時間程度)
場所	武蔵村山市役所 本庁舎4階 中部地区会館 401大集会室
テーマ	土地利用・景観など

今回！

01

最初

キックオフ

- 自己紹介
- 趣旨説明
- 意見交換
- 第1回協議会

02

中間

テーマ別協議 【テーマ】

- ◆土地利用
- ◆道路・交通ネットワーク
- ◆景観形成 など
- 第2回協議会
- 第3回協議会
- 第4回協議会

03

終わり

提言書の 検討

- 協議の結果を
取りまとめ
- 第5回協議会
- 第6回協議会

問い合わせ先 武蔵村山市 都市整備部 都市計画課 沿線まちづくり係

TEL:042-565-1111 (内線 279)

ホームページ <https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/shisaku/machizukuri/1002063/1017864/1021288.html>

